

MRI 検査説明書 —MRI 検査を受ける方へ—

MRI 検査の特徴について

MRI 検査は強力な磁石と電波を使う検査です。検査中は大きな音と振動がします。検査時間は約 30 分から約 60 分です。検査は台の上に横になり、狭いトンネルの中に入って行きます。入れ歯・使い捨てカイロ（成分が鉄分の為）・エレキバン等、磁石に着くものはすべて外します。



※検査当日は金具等の付いていない服装でお越しください。必要な場合は検査着に着替えていただきます。

造影剤使用について

- ・造影剤というお薬を使いながら検査をする場合があります。午前中の検査であれば朝食を、午後の検査であれば昼食という具合に、検査直前の食事は抜いて来て下さい。
- ・造影剤使用に際し、検査予定日から過去 3 か月以内の、腎臓の働きを調べた血液データが必要になります。血液データがない場合は、メディカルシティ東部病院にて血液検査を行います。その場合、検査結果が出るまでに約 45 分お待たせいたします。予めご了承ください。
- ・造影剤を使って検査する場合は別紙の造影剤使用同意書で詳しいご説明をいたします。



検査に伴う危険性

以下のようなものが体内に入っている方は、MRI 検査を受けることが危険です。スタッフにご相談ください。

- ・心臓のペースメーカー ・除細動器 ・金属製の人工心臓弁 ・人工内耳 ・金属製の義眼 ・脳、背髄の神経刺激装置 ・骨成長刺激装置 ・その他、取り外しのできない電子機器 ・挿入して間もない金属製のステント（概ね 6 週間以内） ・素材不明の金属 ・安全確認が取れていない脳動脈瘤手術のクリップ



検査に注意が必要な場合

次の方は検査可能ですが注意が必要になります。

- ・金属製顔料を使用したアイラインや化粧を使用されている（やけどの可能性ががあります）。検査前に化粧を落とさせていただきます。化粧落としや、検査後の化粧道具をご持参下さい。
- ・カラーコンタクトレンズを使用されている（金属を含んだ製品があります）。検査前に外していただきますので、保存容器とメガネをお持ちの方はメガネをご用意ください。
- ・刺青がある（やけどの可能性や、変色することがあります）。
- ・妊娠 3 カ月以内。胎児への安全性が確立されていないため、急ぐ必要のない方は妊娠 4 カ月以降に検査します。
- ・小児や、極度の閉所恐怖症がある（検査ができない場合があります）。
- ・マグネット付きの義歯や義眼を使用している（義歯や義眼などが付かなくなる場合があります）。検査前に取り外してください。
- ・湿布薬、ニトロダーム（ニトログリセリン真皮浸透絆創膏）、ニコチンパッチを貼っている（電流が流れる場合がありますので外していただきます）。予備をご持参ください。
- ・金属加工業をされている、また、されていた（体内、特に目の中に金属片が混入している場合があります）。
- ・けがや事故などで体内に金属片や異物が入っている（画像のゆがみの原因になります）。
- ・ヒートテック等の保温下着や、遠赤外線着を着ている（ヒリヒリ感や火照り、発熱の可能性ががあります）。

